

1998年12月21日

株式会社クロスウェイブ コミュニケーションズ

CWC、第一種電気通信事業の許可を取得

株式会社クロスウェイブ コミュニケーションズ(以下 CWC、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一)は、本日、第一種電気通信事業を行う許可を郵政省より取得しました。

CWC は、国内初となる、光ファイバー網を用いた自由度の高いデータ通信専用インフラを提供します。技術革新の著しい DWDM*1 ならびに SONET*2/SDH*3 を活用することにより、インターネットの普及などにより驚異的な勢いで増大するデータ通信トラフィック需要に応え、料金、提供帯域、サービス形態において革新的なサービス提供を目指します。今後は通信インフラの整備を進め、1999 年 4 月を目処にサービス提供を開始する予定です。

提供予定サービスなどの詳細については現在検討を進めており、確定次第、別途発表を行う予定です。

- *1) DWDM : Dense Wavelength Division Multiplexing(波長分割多重)。光信号の波長を変えて、光ファイバー・ケーブルを多重利用する方式。波長の異なる光ビームは互いに干渉しないという性質を利用してこの技術により、光ファイバ上の情報伝送量を飛躍的に増大させることができる。
- *2) SONET : Synchronous Optical Network。デジタル伝送システムにおける信号の同期階層多重方式の北米方式。
- *3) SDH : Synchronous Digital Hierarchy(同期デジタルハイアラキー)。デジタル伝送システムにおける信号の階層多重方式の国際標準。

【株式会社クロスウェイブ コミュニケーションズ】

設立 : 1998 年 10 月 28 日
代表取締役社長 : 鈴木幸一
住所 : 東京都千代田区神田錦町 3 丁目 13 番地
資本金 : 1 億円
株主 : 株式会社インターネットイニシアティブ
トヨタ自動車株式会社
ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
電気通信役務の種類 : 専用、データ、音声
業務開始予定 : 1999 年 4 月
電気通信設備の概要 : 光ファイバーケーブル